

愛道

第98号

発行・平成21年1月1日

社会福祉法人 足羽福祉会



今号のテーマ
「あたたか」

- ・ 理事長挨拶 新年を迎えて 2ページ
- ・ グッドネス報告 ~よいことを見つけよう~ (足羽利生苑) 3ページ
- ・ 大きな収穫 ~全国障害者スポーツ大会より~ (足羽学園) 4・5ページ
- ・ 愛全園の印象って? 実習生へのインタビューから (愛全園) 6ページ
- ・ 地域のオアシス 子育て支援事業を通して (足羽東保育園) 7ページ
- ・ 大家族「たんぽぽ」~利用者の方とのふれあいを通して~ (足羽ワークセンター) 8ページ
- ・ 冬でも「あたたか」リズム体操クラブ (足羽更生園) 9ページ

毎年10月に足羽福祉会の全施設が集結し、盛大に開催される「レクリエーション交流会」での一幕です。
(足羽学園)

新年あけましておめでとうございます。 皆さんと共に今年一年、良い年にしましょう。

社会福祉法人 足羽福祉会 理事長 滝波博純

そして、いろいろあった年も明け、無事新年を迎えました。みなさん、新年あけまして



昨年未、いつものように多くの方々から年賀状をいただきました。ふだん何かとご無沙汰している方、新しくお会いした方、いつもいろいろとお世話になっている方、どなたも私にかかわりを持っていただき、そして心に響きを与えてくださった方々です。お変わりなく過ごしておられるだろうか、あの頃、あの時は、お互い意気軒昂で、今以上に失敗を繰り返しながら良い勉強をしたなあ、などと思いつつ、騒々しい師走の中で心落ち着くひとときです。

昨年未、金融危機に端を発し、経済不況へ波及するのではないかと、という懸念の中で年を越しました。今の社会の状況は、せつかく長い時間をかけて作ってきた福祉制度が、いとも簡単に変革され、弱者に辛いものになってきている印象を受けます。費用や財源など金銭にまつわる話に気が取られている間に、近代社会が築いてきた人間の平等や人権といった基本理念そのもの



本年のテーマ

おめでとうございます。もう多分今年の目標を立ててスタートされておられることと思います。目標の成就を励みとされて、一步一步着実に希望を持って前進されますよう願っています。

が危うくなってきたり、そんな危機感を抱かずにはいられません。目先の問題に気が取られているうちに、福祉が根本から少しずつ崩れていくのではないかと心配しています。

こうした社会全体にわたる信用失墜の状況に対し、私たち社会福祉法人ができることは何か？と自問しますと、一人ひとりに合った、満足してもらえ、安心してもらえ、保育、支援、そして介護を提供していくことではないかと思えます。私たちのサービスの基本は「人」です。物を売って対価を得るものではありません。常に、職員は人間性やコミュニケーションを大切にしています。

足羽福祉会の理念

わたしたちは「共に生き、共に集う、光を求めて」の理念を継承し、地域に開かれた、地域に信頼される福祉を目指します。



この理念に向かって誠意取り組んで参ります。どうかご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

グッドネス報告

よいこと

見つけよう

足羽利生苑では、職員「の「気付き」と「やる気」を高めるために《グッドネス報告》という取り組みを行っています。今回はその取り組みの内容と、どのような効果が表れているかを紹介します。

介護職は、利用者の方とのかかわりから多くのことを学べる仕事です。しかし体力のいる仕事でもあるため、疲れがたまりやすいのも事実です。疲れがたまった状態が続くと、意欲や笑顔が減ってしまい、いい仕事ができません。そんな状態を防ぐために何かいい方法がないかと考えていたとき《グッドネス報告》のことを知りました。

《グッドネス》とは《よいこと》という意味です。「よいお知らせがあります！」と聞かれれば「何？何？」と聞



笑顔の中に多くのグッドネスがあります

きたくなります。よい話を聞けば心がホッとしたり、一緒に感動できたり、まねしてみようかなと思ったり…。

よい報告によって、うれしいことに気付き、やる気が出れば一石二鳥！と、さっそく全体会議で毎月二、三名の職員に発表してもらうことになりました。平成二十年の五月からスタートし、今ではだいぶ定着しているように思います。実際のエピソードを紹介させていただきます。

送迎バスに乗って感じたこと

ある日の朝の送迎時にふとバスを見ると、昨日は汚れていたはずのバスがピカピカになっていました。それは日ごろより、利用者の方のことを思いバスを洗車してくれている職員がいるからです。また、冬は早めにエンジンをかけ車内を暖かくしてくれています。

毎日、利用者の方が気持ちよく利用できるように、きめ細やかな気配りをしていく職員がいることに感じます。自分も周りの人のためにいろいろと気配りのできる人になりたいです。

感謝の心

ある利用者の方のお嫁さんが、その方に対して「どれだけこの人にお世話になったか。この人がえんかったら、家がどんなになっただか。私の子どももこの人がきちんと面倒見てくれたから、まともに育ったんや」とおっしゃっていました。

それを聞いたとき、私も自分の親に対してそのような気持ちを持っているだろうかとおもいました。自分が長い間勤めてこられたのも家族のおかげ、職場の人たちのおかげだという感謝の気持ちを忘れてはならないと思いました。



安全運転。みんなのお手本です。

足羽利生苑
副主任 藤田 有美

この《グッドネス報告》の機会を設けることによって「へえ、そんな話があったんだあ」といういろいろなことに気付くことができるようになりました。そして、利用者の方とのかかわりの中でも、より多くの《グッドネス》を発見する視点を持つことができるとなってきました。

これからもよいことをみんなと共有し、あたたかい気持ちで仕事に取り組んでいきたいです。そういった気持ちで利用者の方とかわることで、よりよいケアを提供することができますと実感しています。

足羽福祉会

職員紹介

足羽利生苑編

おやおや、足羽利生苑のデイサービスセンターから、ハーモニカとギターの音色に合わせ、懐かしい童謡と歌声が聞こえてきましたよ。

歌っているのはデイサービス職員の菅井周一郎さんです。菅井さんは、若かりしころは「鯖江のジョン・レノン」と呼ばれたほどの腕前で、定期的にデイサービス利用者の方の前で、コンサートを開いています。



皆さん楽しく聴いています

菅井さんはギターだけでなく、特技のおやしぎやぐをおりませ、利用者の方や職員を楽しませてくれます。

今日も菅井さんの周りには、たくさん笑顔があふれています。

大きな収穫

〜全国障害者スポーツ大会より〜

昨年十月十一〜十三日に大分県で第八回全国障害者スポーツ大会が行われました。

日本国内では最大の障害者スポーツ大会であり、全国から選手、役員総勢五千五百人が集結する祭典です。

足羽学園からも、嶺北養護学校に通う高等部二年の寺野聖人さんが参加しました。

今回は全国大会までの聖人さんの頑張る姿と、その頑張る姿が足羽学園の利用者・職員に与えた影響をお伝えします。

昨年五月に開かれた、福井県障害者スポーツ大会「フレック大会」で聖人さんは良い結果を残し、自分の力と努力で、全国大会への切符を手に入れました。

全国大会出場の間接を受けるときには聖人さんに参加させることができるのか、職員

は本当に悩みました。このよう素晴らしい大会の出場が決まったのになぜ?と思われるでしょう。

聖人さんは双子の弟で、同施設に兄の哲人さんも生活しています。幼いころから苦楽を共にしてきた二人はとても仲が良く、良くも悪くも何かをするときには、いつも一緒に行動しないと行かないのです。不安で離れることができないといっても良いでしょう。

また、二人は仲が良すぎて、激しい兄弟げんかをする事もあります。体格に恵まれた二人を止めるために男性職員が三人も四人も必要なくらいです。

そんな二人が五泊六日という長時間を別々に過ごすことは、本人たちにとっては、職員も初めての経験でありました。参加する側、残る側、双

方への精神的な影響と、どのような行動が現れるかは未知数でした。

養護学校とも連携を図りながら、二人の気持ちに最大限の配慮をしました。

聖人さんには、どうして自分が選ばれたのかを理解し、自覚してもらうために「フレック大会」の一ヶ月半も前からトレーニングを毎日欠かさずことなく続けた努力は本当に素晴らしいことで、周りの職員、学校の先生、みんなから認められ、信頼を得たことが、全国大会出場につながっています。簡単に勝ち取れたことではないのです。」と、繰り返し話しました。もちろん全国大会出場が決まってもトレーニングを欠かさずことなく続け、周囲の利用者、職員もその頑張る姿をしつかり見せてもらいました。

哲人さんには、どうして聖人さんだけが選ばれたのか納得できるように、聖人さんの頑張っていた部分、哲人さんも頑張っていた部分、周りの人への説明、周りの人はしっかりと見ていること、努力はいつか認められることを繰り返し話しました。

そのかいがあったのか、大会までの約三ヶ月間を二人とも普段と変わりなく過ごしていました。

壮行会

全国大会出発前夜に、足羽学園で壮行会を開きました。利用者の前で、福井県選手団に配られたユニフォーム姿を披露し、全国大会で頑張ってくることを誓いました。



憧れの先輩です

利用者の眼には聖人さんがとても格好よく映っていたに違いありません。

「一生懸命に努力をする」とは格好いい、僕も私も聖人さんのようになりたい。」と、言葉ではなかなか伝えられないことを、他の利用者は学ぶことができたと感じています。

県庁での結団式

大会出発当日には、福井県庁で県選手団の結団式が行われ、福井県代表として旗手を務める聖人さんは副知事より団旗を手渡されました。その様子がテレビや新聞で報じられ、足羽学園では一躍時の人となっていました。



団旗の重みは忘れません

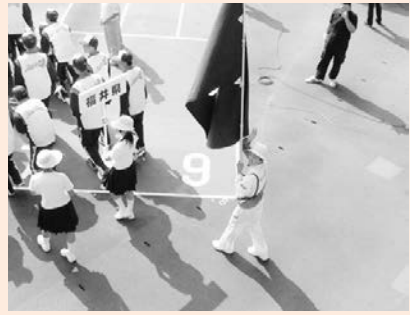
いざ大会本番

大会期間中の聖人さんの様子は、同行された役員さんより伝えていただきます。

「笑顔、元氣、ともに未来へ 新たな一歩」を大会スローガンに本大会が、大分県で開催されました。

私は、福井県選手団の役員として毎年参加しておりますが、今回最も嬉しかったことは、以前からマラソンなどを通じて親交のある聖人君が、

見事福井県の代表として選ばれたことでした。



大舞台に行ってきます！

しかも聖人君が出場する種目は、大会の花形競技の一つである陸上短距離ということ、福井県選手団の旗手にも抜擢され、二重の喜びで大会を迎えることとなりました。

大会は「九州石油ドーム」という大会史上例がないほどの大変素晴らしい会場で、大観衆が見守る中、盛大に開会式が行われました。

北海道を先頭に北から順番に選手団が入場行進し、二十七日目に福井県選手団が姿を現しました。

聖人君が掲げる大きな団旗を先頭に選手たちが行進していきます。メインスタンドのちようど真ん中に差し掛かるころ、来賓の皇太子殿下に敬

意を表わすため、聖人君が大きく団旗を翻し、その合図で選手たち全員が手に持った水仙の花を元気に振る姿を見て、なぜか感慨深いものがこみあげ涙が溢れてきました。

聖人君は大会二日目に百メートル、最終日に二百メートルに出場しました。



緊張の瞬間!!

全国の予選を勝ち抜いてきたアスリートたちを前にし、レース前は不安げな表情を浮かべていた聖人君でしたが、

コールされスタート地点に立ち、入念にスタートライングブロックを調整し、スタートのタイミングを計っている姿は、まさにアスリートそのもので、

聖人君の成長とたくましさを感じました。

結果はメダルこそ獲得できませんでしたが、年々レベル

が向上している陸上短距離競技において、本当によく健闘したと思っています。

最後になりましたが、五泊六日という旅行の中で、露天風呂に入りながら湯煙の立ち上る温泉街を珍しそうに眺める横顔、閉会式の西城秀樹さんのライブで盛り上がっていた満面の笑顔、そして帰りには一緒に参加した視覚障害者選手の手を引きガイドしていた優しい後ろ姿など、これら一つ一つが私の心に残った聖人君の姿でした。

またいつの日か一緒に全国大会へ参加できることを楽しみにしています。これからも頑張ってください。

福井県障害者スポーツ指導者協議会 粒崎 幸夫

全国大会での結果は

百メートル予選レース 八名中五位
二百メートル予選レース 七名中七位

大会期間中の哲人さんとはいいえずと、ふだんは二人で使っているテレビ・ビデオ・テレビゲームなどを思う存分に独り占めすることができて

満足そうにさえ見えました。

あれだけ二人が離れることを心配していた職員でしたが、取り越し苦労だったようで、今回の件で改めて利用者にはいろいろな可能性があることを認識し、職員の思い込みで日々の支援をしているかもしれないことを感じました。

聖人さんには、模範、目標とされることの責任の重さ、周囲に認められることの喜び、努力の積み重ねから生まれる結果を知ることができた、とても貴重な経験になったことでしょう。また、福井県選手団の代表として旗手を務めたことも、五泊六日という長時間を哲人さんと遠く離れて過ごしたことも大きな自信につながることでしょう。この素晴らしい経験をこれからの人生に大きく役立てていってほしいと思います。



200mを激走!!

「職員紹介」

足羽学園編

直接の利用者支援は少なうて寂しいですが、大切なお金の管理や、膨大な事務処理を行っています。



鍋倉事務員

毎朝、登校児童をスクールバスで送り出しています。元気に笑顔で「いってらっしゃい」



佐々木保育士

愛全園の印象って？



実習生へのインタビューから

毎年、愛全園には多くの

実習生の方が来られます。

これから福祉を目指す方の目に、愛全園はどう映るのか？

今回は、平成十九年度に

二度の実習（計二ヶ月間）

を経験された

上田和明さん

にお話を聞きました。



今まで、いくつの施設を経験されましたか？

ここを含めて四施設です。老人保健施設や病院もありました。

愛全園は好きな施設でしょうか？

はい。僕は二度にわたって実習させていただいたのですが、二度目の実習先がこちらに決定したときは本当にうれしかったです。ああ、また愛全園に行けるなあって。

初めて実習に来たときはいかがでしたか？

正直なところ、実習開始一週間くらいは不安でいっぱいでした。利用者の方が話しかけてくれても何を言おうとされているのかわからず、理解できてもすぐ会話が途切れてしまつて。自分はこの仕事に向いてないんじゃないか…真剣に考えました。

それを乗り越えたきっかけは何ですか？

実習では、自分の担当利用者を決めます。その方の何気ない言葉に励まされました。毎日計画していた「散歩」が、雨で実施できなかつたとき「今日は連れてつてくれんのか？」と一言だけ。それでも必要としてもらえていると、心に響きました。では、あなたにとって愛全園の魅力とは？

一言で「あったかい」というところですね。とにかく笑顔が多いんです。利用者

具体的に印象に残っていることはありますか？

の方も職員の方も。それに「ありがとう」の言葉も多く、実習生の僕にまでかけてくれました。まず、その二点が思い浮かびます。利用者の方と職員さんが一緒に、畑で育てた野菜を収穫して持つてきた場面を覚えています。当事者のお二人はもちろん、それを目にした他の職員さんも顔をほころばせながら喜びを分かち合っていました。周りにいた利用者の方も、今までの労をねぎらっていましたし、その場の全員がまるで自分のことのように喜んでる光景が、人間味にあふれてましたから。



レクリエーション交流会でのスナップ

ほかにも同じようなことはありましたか？

そうですね…施設によっては所在確認の際、ただ覗くだけのところもあるんです。それがこちらでは「いいお天気ですよ」みたいに声をかけに行つて結果的に確認につながっているように感じます。職員さんは介護のプロとして利用者の方にかかわっているのですが、人として当たり前のことを大事にされているなあと思いました。

上田さんには、掲載した以上にたくさんのお話を聞かせていただきました。全てを伝えることができませんが、残念です。インタビューを終えた彼は、開口一番「面会に回っていいですか？」と笑顔を浮かべました。

県外出身の上田さん。この春には地元病院に就職されるそうです。ご活躍されることを期待しています。

平成二十年十月

聞き手 澤村 学

「職員紹介」

愛全園編

利用者の方の居室を回る坪田さん



清潔が一番！

「外で食べるとおいしいですね」と羅川さん



屋外での食事

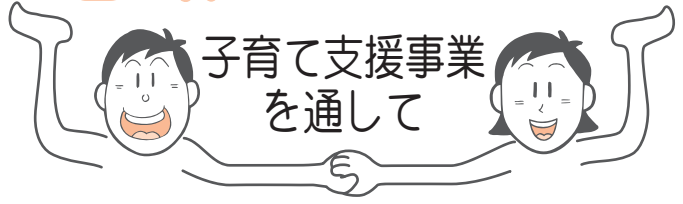
ガランガラン

秋の遠足で利用者の方と参拝するデイスタービスセンタースタッフ



気比神宮にて

地域のオアシス



足羽東保育園は『私たちは「共に生き、共に集う、光を求めて」の理念を継承し、地域に開かれた、地域に信頼される福祉を目指します』という足羽福祉会の理念に基づき、一人ひとりの子どもが安心して自分を表現し活動できるようかかわっています。また、あたたかい社会づくりのために、地域と共に人々にやさしい福祉を進めています。今回は、地域福祉における当園の取り組みをお伝えします。

一時預かり

冠婚葬祭や緊急時、お仕事の都合、ご家族の方のリフレッシュのときに、一時的にお子さんをお預かりしています。一人ひとりのお子さんに合わせ、ゆったりとかかわりながら心の安定を図り、安心して過ごせるようにしています。また、園での様子は、連絡帳や口頭で伝え、ご家族の方にも安心していただいています。
〈保護者の方からの声〉
*初めてでしたが、帰ってからは機嫌よく過ごしていました。保育園であまり不安を感じないように見ていただいたんだなあと、感謝しています。
*子どもにとって、友達と遊んだり、給食を食べたりなど、保育園では特別にできることがたくさんあるようです。
*急用、急病で困ったとき、子どもを温かく受け入れてもらいうれしかったです。
保護者の方から、大変な時こそ「保育園があつて心強い」と思っていただけのように、いつでも笑顔で快く地域の子どもたちを受け入れています。

園開放

「保育園でどんな所？何して遊んでいるの？一緒に遊んでみたい」など、地域の方々の声を受け、園庭や保育園を開放しています。初めて来園されたお子さんは、始め不安そうにされますが、子どもたちの『こんにちは。名前なんているの？一緒に遊ぼう』などと、にぎやかな声にすぐ打ち解けて、いつの間にか一緒に遊んでいます。
何より、保護者の方に喜ばれていることは、保育士と子どもたちの関わりを直接見られることのようにです。『いろんな抱っこ仕方があるんですね。』『子どもってあやつてすると泣きやむんやね。』など、自分の子育てを振り返っての感想やいろんな質問をされています。



抱っこで遊びましょ

子育て広場

毎月、子育て広場という催しを行い、家族の方と季節に応じた遊びをしたり、参加者の方々と交流を楽しんだりしています。子育ての相談もあります。一緒に考え、家庭での子育てに役立てられるようにしています。

〈保護者の方からの声〉

*子育てはなかなかうまくいきませんが、子どもの気持ちを考えて進めていきます。

*いつも、一人で子育てしているのですが、他のお母さん方と話す機会となり、とても気持ち良くなります。

このように、いろいろな子育て支援を通して、地域と保育園のあたたかい心の交流が広がっています。今の社会は少子化や子育ての孤立化などが問題視されています。その中で、保育園が地域から信頼され、何でも言い合え、いつでも頼れる安心の場となるよう、今後も地域と手を取り合い、あたたかい活動を行っています。

足羽東保育園

保育士 金丸 弥生

「職員紹介」

足羽東保育園編

体操教室のお兄さん保育士。子どもたちといろいろな運動を楽しんでいます。



西谷保育士

小さい子に大人気のおばあちゃん。おっとりとした声に赤ちゃんも気持ちよさそうです。



保育補助の藤田さん

八月より、新しくバスの運転手になった牧野さん。子ども達に優しい安全運転をしてくれています。



牧野運転手

大家族「たんぼぼ」

「利用者の方とのふれあいをとおして」

愛道九十六号でケアホームたんぼぼの下宿訓練について紹介しましたが、今回はその利用者の方々とは足羽ワークセンターの職員とのつながりを紹介します。

ケアホームでの生活

平成二十年度より、たんぼぼで下宿訓練されていた利用者の方、二十名が正式に入居されました。

日中はそれぞれの活動場で作業され、夕方たんぼぼに帰ってきます。それはごく当たり前のようで今までなかった生活です。

一つの屋根の下で

仕事から戻られた利用者の



たんぼぼでの笑顔☆



世話人はたんぼぼの柱！

皆さんが大きな声で元氣よく、「ただいま！」と言うと職員や世話人が、「おかえり」と迎えます。この一言で、『自分たちの家に帰ってきた』という安心感や安らぎを感じるのではないのでしょうか。

夕方から翌朝まで利用者の方々と共に生活をしている職員や世話人は生活の面だけではなく精神面においても重要な役割を果たしています。

また、夕食までは、掃除や洗濯、余暇の時間など、それぞれ自由に過ごされています。夕食では、利用者の方と世話人が協力しながら盛り付けや配膳、後片付けなどを行っています。

たんぼぼ開設から現在まで、利用者の方々もずいぶん

と慣れてこられたのか、リラックスした様子で過ごされ、現在では家庭的な雰囲気が多い生活になりました。

世話人のまなざし

たんぼぼの世話人の一人から、たんぼぼでの生活の様子がどういったものなのか、お話をいただきました。

「利用者の方たちは職員が来ることを心待ちにしていると思います。特に担当の職員が来ると、ことさら大きく喜んでおられます。利用者の方は常に職員とのかかわりをもとうと周りから離れないことが多いです。

例えば余暇の時間につくったものを職員に見せにきてくださったり、好きな漫画の話や次の休みの日の話などをして、最近では一緒にプラモデルなどを作っていることもありました。一緒にテレビを観て感想を言いあうなど、本当に大きな家族のような印象を受けています。利用者の方も職員のことをよく見ていて職員のことについても話してもらいます。本当に仲良くかわりをもたれていると思います。

たんぼぼでは利用者の方も買い物などに出かけます。ただ、買い物に困難な利用者の方の日用品などは職員が代わりに購入してくる場合があります。購入したものを渡すときは利用者の方は本当にうれしそうな表情をされ、『ありがとう』と言って自分の部屋に持ち帰っています。職員も援助者という立場で、うまく距離をとり、利用者の方々との信頼関係を築いていると感じています。」



くつろぎのひとつ

たんぼぼでの生活を通して、利用者の方々一人ひとりのつながりの重要性に改めて気が付かされました。今後私たち職員が利用者の方とつながり、信頼関係を築き、維持していくためにも日々利用者の方たちと向き合い支援していく必要があると感じました。

「職員紹介」



仲間とお仕事、村岡事務長！



たんぼぼ担当、平澤さん☆



足羽ワークセンター編
細やかな支援の木下さん。

冬でも 「あたたか」 リズム 体操 クラブ

足羽更生園では七つのクラブ活動があり、利用者の方々はそれぞれのクラブに分かれて週二回活動しています。今回は七つあるクラブの中で体を動かして楽しんでいるリズム体操クラブについて紹介します。

クラブの一日

リズム体操クラブでは、週二回の活動のうち一回は講師の方が二名来園してくださいます。

クラブの最初に講師の方が利用者の方、一人ひとりの顔を見ながらあいさつを兼ねて出席を取ります。声で返事ができる方は少ないですが、利

用者の方それぞれの方法で精いっぱい返事をしています。講師の方が掛け声をかけると利用者の方と一緒に職員も声を出しながら歩行スタートです。声を出しているとみんな元気な気持ちになってきます。

歩行の途中でスキップ、走る、ボクシングの動きを取り入れた腕や脚を使った運動をします。活気が出てくると講師の方を走って追いついてしまいう元気な利用者の方もいるぐらいです。そんな元気な利用者の方に負けないように他の利用者の方も早く歩き、職員も一緒に負けじと張りきると冬の寒さも吹き飛び、寒い体育館でも窓が白く曇るほどです。



飛行機のマネもするよ！

次に、いろいろな関節を伸

ばすストレッチをします。首や肩、腕、腰、膝などの関節を講師の方の歌に合わせてほぐしていきます。

最後はリラックスタイムです。五分間ほど静かに横になり、熱くなった筋肉を鎮めます。そして、講師の方と利用者の方が一緒にパンと手を打つ一本締めをしてクラブは終了です。

Aさんのケース

Aさんは以前、クラブに参加することが苦手でした。そのAさんもクラブに参加できるように好きな音楽をかけ、他の利用者の方が集まる前の静かな体育館に早めに行き、職員がかかわりながらクラブ

が始まる時間を待つようにしたところ、参加率も上がり、最近では、ほぼ毎回参加されています。今では、職員が声を掛けなくてもクラブの時間には一人でも体育館に来られるようになり、楽しく歩行されるような姿も見られるようになりました。このような利用者の方の元気で楽しんでいる様子を見ると身も心も温かくなります。



クラブ楽しいよ♪Aさん

【クラブ担当者の声】

講師の方も利用者の方の特性を理解しようと努めてくださっています。利用者の方々の講師の方が来園されることを心待ちにしています。

今後も講師の方のご指導をいただきながら利用者の方々が楽しく活動できるよう努力していきます。

リズム体操クラブ担当

小林 史武

講師の方がいろいろな活動に参加してください、本当に感謝しています。

これからもさまざまな分野のボランティア・講師の方にご協力していただき、心温まる触れ合いを通して、利用者の方々の活動が充実するように働き掛けていきます。

「職員紹介」

足羽更生園編
食事時間は、楽しくおいしく食べてください。



斉藤支援員

常に安全運転を心掛けています。



渡辺支援員

歯磨きは大事です。



長谷部支援員

平成20年度 ～足羽福祉会～

レクリエーション交流会

が開催されました!



1つ1つ丁寧に!

おサルのかごや
利用者の方々がおサルのご好をし、おサルがかついでいる「かご」にボールをいれる競技です。



平成二十年十月十八日、総勢約三百五十名が福井市東体育館で足羽福祉会レクリエーション交流会を行いました。参加された各施設の利用者およびご家族の方々はとても楽しんでおられました。その様子や内容についてご紹介します。



さあ! 頑張って運ぶぞ☆

施設自慢のお宝運び
各施設からもち寄った、その施設ならではの「お宝」をみんなにしまんしちゃおう!



難しそう…。頑張れ!

おやつごっこ
コースの途中に吊るされたお菓子をとってゴールまで!



さあ何点になったかな?

投げて入れて目指せ百点
高得点をめざして☆
よくくねらって…それ!



綱引き
さあ! うまく引っ張ることができるかな?



利用者と職員、一つになって踊ろう☆



みんなで精一杯応援だ!!

★お楽しみタイム★
お昼休みの時間を利用して各施設のだしものの発表をする時間です♪今年はどうなのがあったかな☆

できごとアラカルト



おいも大好き



足羽学園

芋掘り交流

NTT労働組合さつまいも掘り交流に参加しました。頭のサイズよりも大きなさつまいもが、畑の中からゴロゴロと出てきました。

収穫してすぐのさつまいもの天ぷらはと〜もおいしかったです！



足羽東保育園

10月16日、足羽福祉会全施設の利用者の方と芋掘り交流を行いました。他の施設の利用者の方と一緒に土を掘り、大きなさつまいもを見つけ大喜びしました。

研修旅行

今年度も九月十七、十八日と二十四、二十五日、十月八、九日に研修旅行に行きました。岐阜、富山、長野の三班に分かれて利用者の方たち、職員も一緒に楽しみました。



足羽ワークセンター

松島水族館まで遠足

足羽利生苑きらく楽をご利用の皆さんで、松島水族館まで遠足に行っていました。迫力あるイルカショーを見たり、魚と触れ合ったりして、楽しいひとときを過ごしました。



「ざらざらやの〜、さめ肌やな」

足羽利生苑

酒生小学校との交流会



九月二十八日、酒生小学校文化祭に参加し、楽器演奏の発表会を行いました。この日のために一ヶ月前から練習に取り組みました。

足羽更生園

福祉演芸会



十月九日、福祉演芸会（マジック&歌謡ショー）が開催されました。利用者の方も地域の方も一緒になって笑顔の絶えないすてきな時間を過ごしました。

愛全園

みんなの広場



敬称略させていただきます。

愛道を 読んで

私は、ケアホーム「たんぼ」で世話人をさせていただいております。今回、初めて「愛道」を読ませていただきました。その中で、今から十六年前に、父が短期間ではありましたが、お世話になった愛全園が、足羽福祉会であることを知り驚きました。本当に、不思議な縁を感じました。今は、ケアホームの利用者

の方々とのかわりを、心から喜び、純粋な世界を教えられ、一緒に歩んでいきたいと思っております。それが足羽福祉会へ恩返しであり、亡き父への何よりの供養であると信じています。

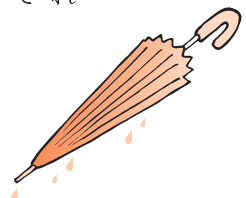
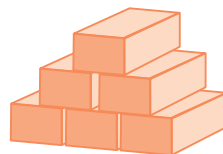
足羽ワークセンター
ケアホームたんぼ世話人

高田 郁子

おばあちゃんのスエブころぬれた傘にはレング

雨の日、ぬれた傘の置き場
所はどうしていますか？傘立
ての中に入れると他の傘もぬ
れてしまいますし、どこに置
いても周りをビショビショに
してしまいます。
そんなときに役立つのがレ
ングです。レングは吸水性に
優れているため、レングの上

に傘を立てかけるようにすれ
ば、驚くほど水を吸い取って
くれます。ぬれた靴もレング
の上に置けば早く乾きますし、
使った後は日に干せば、何度
でも使うことができます。
傘を使ったときにはぜひ試
してみてください。



寒い冬を 乗り切る ための

おもしろ 一工夫

私の祖母は、寒くなると、
毛糸で編んだ、大きな袋状の
ものに両足を突っ込んで、そ
の中に使い捨てカイロを入れ
て過ごしています。
両足が袋の中なので移動は
できませんが、寒い冬は動か
ずじっとしているのが一番！
あったかいうえに、暖房費
の節約もできるので一石二鳥
です！

足羽学園 杉本 訓子

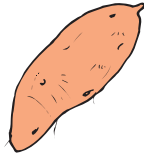


おすすめレシピ 芋ようかん



《材 料》

◆さつまいも	150g
◆粉寒天	1g
◆水	50g
◆グラニュー糖	50g
◆塩	1つまみ



《作り方》

- ① さつまいもは皮をむき、柔らかくなるまで茹で、つぶします。
- ② 粉寒天を分量の水で煮ながら溶かし、沸騰したらグラニュー糖を入れ溶かします。
- ③ ②の鍋を火から降ろし、①のさつまいもと塩を加え、練ります。
- ④ ラップを敷いた流し箱に入れ、冷蔵庫で冷し固めます。
- ⑤ 固まったら取り出し、適当な大きさにカットすれば完成です。
※トッピングに缶詰の小豆をのせてもOK！

足羽更生園では、園内外の行事、余暇活動、園内美化、洗濯物の仕分けなど、さまざまな活動において、お手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。

ボランティアさん募集!!

詳しくは担当者までお問い合わせください。

お問合せ先

TEL (0776)

41-3120

ボランティア担当

谷口まで



色とりどりのパンジー

足羽東保育園の花壇や玄関はいつもきれいなお花で飾られています。
これは、保護者の山田さんが趣味で作られているお花をたくさん保育園にも分けてくださっているからです。山田

ご協力
ありがとうございます
ございます



さんのお陰で保育園全体がきれいに飾られ、子どもも職員も明るい気持ちで毎日を過ごさせていただいています。
子どもたちも山田さんのことを「お花のおばあちゃん」と呼び、手紙を書いています。
山田さんのお気持ちを子どもたちに伝え、花の美しさに共感したり草花を大切にすることを伝えていきます。



お花っていいにおい